



南部町立南部中学校 学校だより 第6号

千一ム南部中

令和3年6月30日(水)
校長 望月和彦

親子進路学習会

6月10日(木)3年生とその保護者を対象に「親子進路学習会」を開催しました。昨年度はコロナのために中止しましたが、今年度は生徒と保護者の数が昨年度より少ないことから、感染症対策を講じて実施しました。3年生の現段階での進路希望、卒業生の進学状況、高校の学科の種類を考えて、今年度は身延高校、青洲高校、身延山高校、富士宮西高校、富士宮北高校、富岳館高校、星陵高校の7つの高校から先生に来ていただき、それぞれの学校の教育方針や教育内容、学校の特色や生徒の様子、卒業生の進路状況、また、学校の施設・設備などを説明してもらいました。午後1時15分に始まり、途中1回の休憩を挟んで終了は4時50分という長丁場でしたが、生徒たちも、保護者の皆さんも集中して、それぞれの高校の説明に耳を傾けていました。



中学校を卒業すると、就職という道を選ぶこともできますが、ほとんどの生徒は進学します。「進学」というと「高校」しか知らない人もいますが、「高等専門学校」や「専修学校」などに進学した卒業生もいます。また、「高校」といっても、通学時間や通学方法によって「全日制」「定時制」「通信制」などがあり、学習内容やめざす進路の違いによって「普通科」「工業科」「商業科」「農業科」「福祉科」「看護科」「総合学科」などがあります。様々な選択肢があるわけです。進路学習会のはじめのあいさつの中で触れましたが、本校の卒業生の進学先は、昨年度の60名は22校、統合してから10年間の卒業生634人を調べると60校にもなります。進学といっても選択肢は多数あるということです。自分の興味や関心、進みたい進路や就きたい職業、自分の適性や学力に最も適した学校はどこなのか、じっくり考えてほしいと思います。今回以外に高校など進路先の情報を得る方法として、「生徒向けの体験入学や学校説明会、進路相談会に参加する」「高校などのホームページで調べる」「高校のパンフレットや情報誌で調べる」「その学校に通っている卒業生に話を聞く」「中学校の先生に教えてもらう」など様々な方法があります。進路選択が半年後に迫っている3年生はもちろん、2年生、1年生もその時期はあっという間にやってきます。自分自身で最高の選択ができるように、日頃から進路に関する情報を集めておくことが大切です。そして、もう一つ大切なことは、希望する進路が決まったときに、実際にその進路に進むことができるように、学力を含めて自分の力を高める努力をしていくことです。

中学校を卒業すると、就職という道を選ぶこともできますが、ほとんどの生徒は進学します。「進学」というと「高校」しか知らない人もいますが、「高等専門学校」や「専修学校」などに進学した卒業生もいます。また、「高校」といっても、通学時間や通学方法によって「全日制」「定時制」「通信制」などがあり、学習内容やめざす進路の違いによって「普通科」「工業科」「商業科」「農業科」「福祉科」「看護科」「総合学科」などがあります。様々な選択肢があるわけです。進路学習会のはじめのあいさつの中で触れましたが、本校の卒業生の進学先は、昨年度の60名は22校、統合してから10年間の卒業生634人を調べると60校にもなります。進学といっても選択肢は多数あるということです。自分の興味や関心、進みたい進路や就きたい職業、自分の適性や学力に最も適した学校はどこなのか、じっくり考えてほしいと思います。今回以外に高校など進路先の情報を得る方法として、「生徒向けの体験入学や学校説明会、進路相談会に参加する」「高校などのホームページで調べる」「高校のパンフレットや情報誌で調べる」「その学校に通っている卒業生に話を聞く」「中学校の先生に教えてもらう」など様々な方法があります。進路選択が半年後に迫っている3年生はもちろん、2年生、1年生もその時期はあっという間にやってきます。自分自身で最高の選択ができるように、日頃から進路に関する情報を集めておくことが大切です。そして、もう一つ大切なことは、希望する進路が決まったときに、実際にその進路に進むことができるように、学力を含めて自分の力を高める努力をしていくことです。



中学校を卒業すると、就職という道を選ぶこともできますが、ほとんどの生徒は進学します。「進学」というと「高校」しか知らない人もいますが、「高等専門学校」や「専修学校」などに進学した卒業生もいます。また、「高校」といっても、通学時間や通学方法によって「全日制」「定時制」「通信制」などがあり、学習内容やめざす進路の違いによって「普通科」「工業科」「商業科」「農業科」「福祉科」「看護科」「総合学科」などがあります。様々な選択肢があるわけです。進路学習会のはじめのあいさつの中で触れましたが、本校の卒業生の進学先は、昨年度の60名は22校、統合してから10年間の卒業生634人を調べると60校にもなります。進学といっても選択肢は多数あるということです。自分の興味や関心、進みたい進路や就きたい職業、自分の適性や学力に最も適した学校はどこなのか、じっくり考えてほしいと思います。今回以外に高校など進路先の情報を得る方法として、「生徒向けの体験入学や学校説明会、進路相談会に参加する」「高校などのホームページで調べる」「高校のパンフレットや情報誌で調べる」「その学校に通っている卒業生に話を聞く」「中学校の先生に教えてもらう」など様々な方法があります。進路選択が半年後に迫っている3年生はもちろん、2年生、1年生もその時期はあっという間にやってきます。自分自身で最高の選択ができるように、日頃から進路に関する情報を集めておくことが大切です。そして、もう一つ大切なことは、希望する進路が決まったときに、実際にその進路に進むことができるように、学力を含めて自分の力を高める努力をしていくことです。

地区総体陸上競技の部

6月21日(月)小瀬スポーツ公園陸上競技場(JITリサイクルインクスタジアム)で峡南地区総体の陸上競技の部が開催されました。学校での練習は1週間程度しかできませんでしたが、体育の時間の測定や個人の希望を参考に61人の選手が選ばれ、男女ごと「共通の部」「2年生の部」「1年生の部」に分かれた合計43種目の競技に出場しました。当日は、6月の暑い日差しの中でしたが、「自己記録更新」「あいさつも行動も峡南一」を目標にして選手たちは各競技で必死にがんばりました。総合得点では、峡南地区9校の中で、2年男子が優勝、共通男子・2年女子・1年女子が第2位、共通女子が第3位、種目別でも11種目で1位、延べ59人が8位以内入賞という素晴らしい結果でした。指導していただいた四條勉先生が一昨年「南部中は、真面目に努力する生徒が多いので、競い合っているときに、最後の一踏ん張りが効く」とおっしゃっていましたが、今年度の選手たちも伝統を受け継いでいました。選

手をサポートしたマネージャー・補助員の7名も立派な働きでした。最後に誰もいないスタンドのゴミ拾いをしていた生徒たちにも拍手を送りたいです。個人種目で3位以上、リレーで2位以上になった選手は、7月末の県大会に出場できるようになっています。以下に入賞者の結果を紹介します。

	男子	女子
共通	総合2位 100m 2位一瀬友希, 8位望月萩羽 200m 4位佐野志穂, 5位望月萩羽 400m 4位山本開翔, 6位近藤充季 800m 6位佐野昇熙 1500m 6位若林雅斗, 7位入月瑛大 3000m 2位佐野志穂, 5位稲葉蓮 110mH 3位遠藤滉太 走高跳 1位山田流稀 走幅跳 1位一瀬友希, 5位佐野昇熙 砲丸投 4位朝夷礼央, 7位前栗藏裕馬 4×100R 1位南部中	総合3位 100m 8位田中亜衣菜 200m 3位望月紗菜, 4位中野綺萌 800m 1位望月玲, 6位宮下千宙 1500m 1位望月玲, 5位岡村咲祈 100mH 5位望月紗菜, 8位田中亜衣菜 走幅跳 5位前田鈴音 砲丸投 4位岩本奏音 4×100R 3位南部中
2年	総合優勝 100m 2位望月晴, 7位大内龍雅 800m 1位望月晴, 7位芦川圭澄 3000m 6位諏訪太惺 110mH 6位芦川圭澄, 7位渡辺琉偉 走高跳 1位横山海琉, 佐野稜真 走幅跳 3位渡辺琉偉, 7位柿島瑛心 砲丸投 3位依田大輝, 6位田中景晨	総合2位 100m 1位渡邊莉理 800m 3位萩原音色, 4位鈴木湊羅 110mH 1位佐野結菜, 5位仲亀花音 走高跳 3位佐野結菜 走幅跳 2位鈴木湊羅, 3位簀持唯
1年	総合5位 100m 1位古屋祐磨 1500m 5位遠藤星南, 8位小山歩夢 走幅跳 8位芦川蒼 砲丸投 5位小泉道慈, 8位田中廉晨	総合2位 100m 7位若林実希 800m 4佐々木麗 走幅跳 5位瀧井ひなの 砲丸投 1位岩本奈砂, 6位遠藤夏奈 4×100R 3位南部中



1年生のふるさと学習

1年生は総合的な学習の時間を使って、ふるさと学習を行っています。南部町の学習は小学校の生活科や社会科、理科でもやってきましたが、学校周辺の自然観察や公共施設、工場や商店、水道やゴミ処理施設などが中心だったと思います。中学校では、南部町の歴史や文化財、史跡、自然などについて学習します。学校にある様々な書籍や資料をもとに学習しますが、学習したことを実際に現地で観察し、触れたり、感じたりしてくるのが、7月7日の「ふるさと探訪」です。地域の歴史や文化財について専門的な知識を持った芦澤和彦先生、佐野正剛先生を講師に半日町内の現地調査に出かけます。

6月18日には、一昨年度完成した南部町「ふるさとカルタ」を使った学習を行いました。1年部の教員が生徒に内緒で校内の様々な場所にカルタを掲示しました。ウォークラリー形式で生徒たちはカルタを探し、プリントされた問題に答えていくゲームです。生徒たちは、ふるさとカルタに書かれた町の歴史や文化財、自然などの内容を、楽しみながら学習していました。

